

科目区分	専門基礎分野	授業科目	チーム医療論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次
目的: チームで協働するためのスキルを理解し、看護に必要な多職種との連携・協働の基礎的能力を養う。 目標: 1 他者と協働し、チームを効果的に機能させる視点及びスキルを理解できる。 2 関係職種間での連携及び協働により、地域社会の人々の保健・医療・福祉に貢献できる態度を養う。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 協働:他者とともに活動する	15	1 協働するための視点とスキル 1) チームとは 2) チームの構成要素 3) チームの機能 4) チームワーク 2 リーダーシップ 1) リーダーシップとは 2) リーダーシップの理論 3) リーダーと信頼 3 フォロワーシップ 4 チームの一員に求められる協働 1) 協働するためのコミュニケーション、マナー、姿勢 2) 承認するスキル 3) アサーション 4) 交渉とコンサルテーション 5 継続看護のための協働 1) 継続看護とは 2) 退院支援調整 3) 看護職間の協働 4) 多職種との協働	
2 多職種との連携・協働	9	1 施設内の専門職と考える多職種連携 1) 医師の職責と役割、多職種との連携 2) 薬剤師の職責と役割、多職種との連携 3) 栄養士の職責と役割、多職種との連携 4) 看護師の役割、多職種との連携 (院内での役割及び在宅へつなぐ役割を含む) 2 院内での多職種との連携・協働を考える※1 1) 目標達成のために必要な職種とそれぞれの役割 2) 目標設定と共有 3) 各職種へ看護師のはたらきかけ 4) 連携・協働で大切にしたいこと	
	6	3 病院から在宅へ 継続看護のための連携、協働 1) MSW の役割と機能、法的責任 2) 退院支援看護師の役割と機能、法的責任 4 病院から在宅へ多職種の役割と連携・協働を考える ※2 1) 目標達成のために必要な職種とそれぞれの役割 2) 目標設定と共有 3) 目標達成に向けた看護師のはたらきかけ 4) 連携・協働で大切にしたいこと	

評価方法	レポート、ロールプレイ、参加状況・態度等
テキスト	メディカ出版 看護の統合と実践① 看護管理 医学書院 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤
参考資料	医歯薬出版 チーム医療論
履修上の 留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 演習やグループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。
備 考	※1※2は事例検討 単元2 多職種との連携・協働の実際には、事例について学生が連携・協働について検討し、発表、講師から助言を頂く。

科目区分	専門基礎分野	授業科目	公衆衛生学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15 時間)	開講年次	3年次
目的: 総合的な健康づくりを推進する保健活動を理解する。 目標: 1 公衆衛生の概要を理解できる。 2 健康生活に関連する生活環境因子や対策を理解できる。 3 集団の健康状態を把握する健康指標や調査データの疫学的見方を理解できる。 4 衛生行政と保健活動の概要を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 公衆衛生の基礎	5	1 公衆衛生の理念と看護の倫理 1) 公衆衛生とは 2) プライマリーヘルスケア 3) 情報公開と生命倫理 2 健康と環境 1) 環境とは 2) 生活環境の保全 3 公衆衛生の技術 1) 疫学と健康指標 4 医療の動向と医療保障	
2 対象別健康管理の実践	6	1 地域保健 1) 地域と健康 2) 地域活動の場 (1) 市町村保健センター (2) 保健所 3) 生涯にわたる健康づくり対策 4) 地域保健対策 2 成人保険・老人保健 1) 成人と高齢者の健康の意義 2) 生活機能と保健活動 3 感染症対策 1) 感染症の基本知識 2) 今日の感染症とその予防対策 3) 結核 4) 性感染症と HIV 感染	
3 場面別健康管理の実践	3	1 産業保健 1) 労働者の健康問題 (1) 職業性疾病および業務上疾病 (2) 健康障害要因としての労働・労働環境 2) 労働者の健康を守る法律 3) 職場における労働者の健康を支援する環境づくりの実践 4) 職業に関連する健康障害と予防および対策の実践 2 災害保険 3 健康危機管理	
	1	試験	

評価方法	筆記試験
テキスト	医学書院 健康支援と社会保障制度〔2〕 公衆衛生 メディックメディア 公衆衛生がみえる
参考資料	
履修上の 留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。
備 考	

科目区分	専門基礎分野	授業科目	社会保障と社会福祉
講師名		実務経験の有無	無
単位数(時間)	2単位(30時間)	開講年次	3年次
目的: 社会保障制度と社会福祉の概念及び保健・医療・福祉チームとの連携を理解する。 目標: 1 社会保障制度の概念と仕組みを理解できる。 2 社会福祉の対象と制度を理解できる。 3 社会福祉サービスと活用における保健医療との連携を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 社会保障制度と社会福祉	7	1 社会保障制度 1) 社会保障の概念 2) 社会保障の目的・機能 3) 社会保障の体系 4) 社会保障の内容 5) 社会保障給付費 6) 少子高齢化と社会保障制度 2 社会福祉の法制度 1) 社会福祉の法制度の歴史的展開 2) 社会福祉法と福祉六法 3 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 1) 現代社会の変化 2) 社会福祉サービスの動向	
2 社会保障制度のしくみ	10	1 医療保障制度 1) 健康保険と国民健康保険 2) 高齢者医療制度 2 介護保障制度 1) 介護保障の歴史 3 所得保障制度 1) 年金保障制度の概要と役割 2) 社会手当 4 公的扶助制度 1) 生活保護制度のしくみ	
3 社会福祉の分野とサービス	6	1 高齢者福祉 1) 高齢者福祉の施策 2) 老人保健事業 2 障害者福祉 1) 障害者福祉の理念 2) 障害者福祉制度の変遷 (1) 障害者基本法の改正 (2) 障害者総合支援法 3) 障害者福祉の関連施策 3 児童家庭福祉 1) 児童家庭福祉のしくみ 2) 児童福祉法 3) 母子保健法 4) 少子化対策 5) 児童虐待対策 6) DV 対策	

4 社会福祉 と保健医療 との連携	6	1 社会福祉実践と医療・看護との連携 1) 社会福祉援助 2) 連携の重要性 3) 医療・看護・福祉の連携の実際 4) 連携の場面とその方法 (1) 民間活動
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		医学書院 健康支援と社会保障制度〔3〕 社会保障・社会福祉
参考資料		
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備 考		

科目区分	専門基礎分野	授業科目	関係法規
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	3年次
目的: 医療・看護の場において必要な法律の基礎的知識を習得する。 目標: 1 衛生法規の概要を理解できる。 2 医事関係法規の概要を理解できる。 3 法に基づく看護の役割と責任を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 衛生法規	2	1 衛生法規とは 1) 衛生法規の分類と概要 2 法律と厚生行政のしくみ	
2 医事関係 法規	10	1 看護職に関する法律 1) 保健師助産師看護師法 (1) 目的 (2) 定義 (3) 保健師助産師看護師法の構造と付属法令 (4) 業務 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (1) 目的 (2) 定義 (3) ナースセンター 2 医師法 1) 任務 2) 臨床研修 3) 業務 3 歯科医師法 4 医療職者に関連する法 1) 薬剤師法 2) 診療放射線技師法 3) 臨床検査技師等の関する法 4) 理学療法士及び作業療法士法 5) 救命救急士法 6) 言語聴覚士法 7) 社会福祉士法及び介護福祉士法 8) 精神保健福祉法 5 医療を行う施設に関する医療法 1) 目的 2) 医療提供の理念 3) 定義 4) 開設等の規則 5) 病院等の管理 6) 病院等の人員 7) 診療に対する諸記録等 6 労働法 1) 労働法の目的 2) 労働者としての看護師 3) 労働法の体系 4) 雇用関係法	

		5) 労働基準法
3 看護における法的責任	2	1 医療紛争と法的責任 1) 医療事故と医療過誤 2) 医療事故によって生じる法的問題
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		医学書院 健康支援と社会保障制度〔4〕看護関係法令
参考資料		
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備考		

科目区分	専門基礎分野	授業科目	総合保健医療論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	3年次
目的: 保健医療の変遷の概要と今日の保健医療の現状と課題を理解する。 目標: 1 いのちと健康と病の考え方の変遷を理解できる。 2 医療の歴史及び保健医療の現状から、看護師の役割を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 医療と看護の原点	2	1 命について考える 2 病の体験 3 癒しの行為と癒しの知 4 チーム医療とマネジメント	
2 医療の歩みと医療観の変遷	2	1 現代医療の起源 2 我が国の医療がたどってきた道 3 医療観の移り変わりとこれからの医療観	
3 私たちの生活と健康	4	1 我が国の医療供給体制 2 少子高齢化社会と世代間のきずな 3 障害者のノーマライゼーションと社会的包摂	
4 科学技術の進歩と現代医療の最前線	2	1 がん診療 2 移植医療 3 人工臓器の開発 4 再生医療 5 画像診断装置の進歩	
5 現代医療の新たな課題	4	1 医原病 2 インフォームドコンセントと医療情報の開示 3 患者の安全 4 医療の管理と評価 5 情報化社会と医療	
	1	試験	
評価方法		筆記試験	
テキスト		医学書院 別巻 総合医療論	
参考資料			
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。	
備 考			